

英語「話すこと」の評価に関する検討委員会（第2回）会議要旨

1 日時 平成30年6月21日（木） 午前10時から正午まで

2 会場 都庁第二本庁舎31階 特別会議室22

3 欠席者 松永委員

4 協議内容（意見・説明要旨）

（1）平成30年度フィージビリティ調査について

（概要）

○ 平成30年8月から10月までの期間で、都内区市町村立学校8校の第3学年生徒 合計約1,000人を対象に、フィージビリティ調査を実施する。

（出題方針及び出題構成について）

○ 出題の範囲は、中学校学習指導要領外国語（平成20年9月）における「話すこと」に係る内容とし、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すコミュニケーション能力を測る。

（実施方法等について）

○ PC又はタブレット端末等を用いて解答音声を録音する方式とする。ただし、一部実施校においては、面接によるテストを実施する。

○ 実施時間は20分程度とする。

（検証項目について）

○ スピーキングテストを円滑に実施するために必要な教室内の環境、受験者の動線、スケジュール（前日まで・当日）、試験監督者や補助員の人数等を検証する。

○ 英語科教員及び実施運営に関わった教員並びにテストを受験した生徒を対象に、テストの内容や実施及び運営について、アンケートを実施する。

○ 使用する機器のトラブル対応について、復帰の方法も含めて具体的に想定し、対応を検討するべきである。

○ テストの実施においては、民間の資格・検定試験実施団体の知見を活用する。

（2）平成31年度東京都立高等学校入学者選抜検討委員会への報告について

（英語「話すこと」の評価に関する検討委員会の設置）

○ 英語「話すこと」の評価に関する検討委員会の設置及び検討事項について、報告を依頼する。

○ 平成30年度に実施するフィージビリティ調査の内容及び検証結果について取りまとめ、年度内に報告する。

（3）スピーキングテスト導入までの計画・導入規模について

（民間事業者との連携）

○ 問題については、内容が学習指導要領に準拠したものとなるよう東京都教育委員会が監修する。

（現行の学力検査の考え方）

○ スピーキングテストの導入に伴い、現在の学力検査における3技能の評価の考え方についても改めて整理する必要がある。

（導入計画）

○ テスト導入の中長期的なスケジュールについて、可能な限り早く公表し、説明を行うべきである。

（スピーキングテストの具体的内容）

○ スピーキングテストの結果は、得点及びバンドの両方で表し、それぞれの入学者選抜における活用についても具体的に検討する必要がある。

○ テストの実施時期は、中学校の学校行事や進路指導に十分配慮するとともに、私立高校での活用の可能性を踏まえ、実施時期を設定する。その際、区市町村教育委員会とも十分協議する。

○ インフルエンザ等の欠席者へ対応、他道府県や海外からの受験者等についても十分に配慮する。